

令和3年10月27日(水)に 令和3年度 「日本水道協会栃木県支部合同防災訓練」の 「給水車進行訓練」及び「応急給水訓練」に参加しました。

令和3年10月26日～27日にかけて「令和3年度日本水道協会栃木県支部合同防災訓練」が行われました。

この訓練は、宇都宮市を震源とする震度5強の地震の発生により、市内の複数で断水が発生し、栃木県企業局及び宇都宮市が、日本水道協会栃木県支部の各事業体に応援を要請したとの想定で行われました。

当組合からは、柿沼災害対策検討委員会副委員長と川中子専務理事及び、応急給水班として3名の組合職員が参加しました。

訓練は白沢浄水場で給水タンクに充水した後、指示された応急給水場所へ進行し給水を実施するもので、県内の15の事業体から16台の給水車が参加し、当組合は上河内地区市民センターにて応急給水を行いました。



白沢浄水場に参集した各事業体の給水車



白沢浄水場で充水する組合の給水車



上河内地区市民センターでポリタンクに給水する組合職員



閉会式で整列する訓練参加者



塚田上下水道事業管理者による「講評」



訓練に参加した柿沼副委員長、川中子専務理事
西村課長、矢古宇係長、三富係長